

Interim Report 2010
eyes

第**69**期 中間報告書

2010.4.1 ▶ 2010.9.30

ものづくりを通し、
信頼性の高い技術と
品質をお客様に提供し、
豊かな未来を拓いていく

Mamiya-OP

マミヤ・オーピー 株式会社



Top Message

株主の皆さまへ



代表取締役社長

矢崎 登

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素よりの格別のご理解・ご支援に、心より御礼申し上げます。

さて、当社グループは、積極的M&Aによる事業領域の拡大と新たな中核事業の確立により、卓越した「ものづくり」企業として持続的成長を実現すべく、様々な施策を展開しております。

まず電子機器事業では、カードユニット事業への過度の依存から脱却し遊技関連マーケットに深く浸透すべく新市場開拓に貪欲に取り組むと共に、マミヤ・オーピー・ネクオス株式会社を、会社分割により「ものづくり」の拠点として再編成する等、一層の合理化と品質の向上を図っております。

またスポーツ事業では、「USTMamiya」のグローバルブランドとしての確立を強力に推進しており、本年9月発売のニューモデル「ATTAS T2」も、おかげさまで順調な滑り出です。さらに本年10月、総合ゴルフ用品メーカーであるキャスコ株式会社の買収を決定し、業容の拡大を着実に進めております。

このように、私どもは、新たな構想の下での戦略的事業展開によって大きな飛躍を果たし、株主の皆さまへの利益還元を実現すべく、全社員一丸となって邁進いたしますので、これまでも増してのご支援・ご厚情を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

平成22年12月

Our Business

電子機器事業部門一 社会に大きく貢献するエレクトロニクス技術

電子機器事業において当社は、様々な分野のお客様のニーズを迅速かつ的確に把握し、当社が現に保有する技術と新技術の開発を車の両輪として新製品の開発に積極的に取り組み、台間玉貸機カードユニットを中心としたパチンコ周辺機器及びアミューズメント関連機器、さらには固有技術を活用した小型券売機や紙幣識別装置など、高機能・高品質な製品をスピーディーに市場投入することにより、社会に大きく貢献してまいりました。

しかし、主力事業であるパチンコ周辺機器の業界においては、低貸玉営業の普及等によりパチンコ遊技人口の減少こそ下げ止まりつつあるものの、パチンコホールの優勝劣敗による淘汰の傾向はますます鮮明となり、売上の柱である台間カードユニット

においても価格競争とシェア争奪が引き続き激化するなど、依然として厳しい状況が続いております。

当社は、このように困難な事業環境においても持続的成長を果たすため、販売力・開発力強化のための人材確保を進め、新たな事業の強化に取り組むと共に、新製品の開発、新規市場の開拓等を進め、事業の多極化を図ってまいります。

新規事業としては、紙幣搬送システム・紙幣識別装置等の開発・製造・販売事業への参入に続き、エフ・エス(株)を買収し遊技場向けシステム関連機器に進出するなど、一連の戦略的M&Aにより厳しい経営環境を克服し、事業領域の拡大による経営基盤の強化を進めております。

また、本年10月1日を期して、岩槻事業所を子会社のマミヤオーピー・ネクオス(株)に分割・承継することで、同社を電子機器の生産拠点として再編成し、専門性及び技術の高度化と、さらなるコスト低減を推進することで、市場環境の急激な変化に的確に対応し、品質及び生産性の向上を図ってまいります。



■ 本社(営業部門)



■ 技術開発センター



■ 岩槻事業所
※平成22年10月1日付会社分割により
マミヤオーピー・ネクオス(株)に承継



調整・検査ライン



BooLEXカードユニット



Operal 小型券売機



MB100 小型紙幣識別機



メダルホッパー

スポーツ事業部門 — 統一ブランド「USTMamiya」によるグローバルマーケティングの展開

当社は、昭和48年に国産初のカーボンシャフトを発売して以来、常に時代の先端を走る技術による、お客様の視点を大切にしたい製品の開発に努めてまいりました。

発売当時は史上最軽量とされた「ミラクルビーム」や、重量によってデザインが異なる「イナーシャル」、さらに日本のトッププロの意思を忠実に反映させた「ジャンボシリーズ」等、常にマーケットに話題を提供する新たなシャフトを発売してまいりました。とりわけ、世界初の四軸織物を搭載した「AXIVシリーズ」は、その斬新なコンセプトと高性能により、トッププロはもちろん、数多くのアマチュアゴルファーにも圧倒的な支持をいただきました。また、日本のファッションデザイナーとコラボレーションしたレディスシャフトは、女性ゴルファーによるリシャフトという新たな市場を開拓いたしました。

海外市場においては、平成3年設立の米国現地法人UST (United Sports Technologies)の下、特徴あるデザインの「Proforce Gold」によるマスターズ制覇を始め、世界のトッププレーヤー達が使用した「Proforce V2」、可変式ヘッドに対応した「AXIV-Core」(USTMamiya契約プロのスチュアート・シンクが、「AXIV-Core」で第138回全英オープン優勝)等々、数多のヒット商品を生み出してまいりました。

そして昨年、グローバルブランドUSTMamiyaの下で、“世界”をターゲットとして日米の経営資源を融合した新たな取り組みをスタート。その第一弾である『ATTAS-アッタス』は、ゴルファー

のポテンシャルとヘッドの持つ性能を最大限に引き出すモデルとして大きな話題となり、国内市場における当社最大のヒット製品となると共に、大手クラブメーカーのカスタムクラブ・ラインアップに加わることで、当社スポーツ事業に新たな展開をもたらすエポックメイキングなモデルとなりました。

そして本年9月3日、当社は、ATTASシリーズのニューモデル「ATTAS T2」を発売。その飛びと精悍なデザインは、発売と同時にシャフト市場の話題を独占し、「ATTAS」を上回る受注をいただくことができました。

当社スポーツ事業部門は、グローバルな構想の下で日米そして生産拠点であるバングラデシュの連携を一層強化し、世界のトッププレーヤーに信頼されゴルファーを魅了する製品をマーケットに供給し続けることによりUSTMamiyaブランドを大きく育て、持続的な成長を実現してまいります。



ATTAS HY



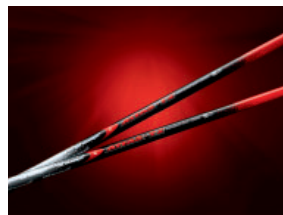
ATTAS



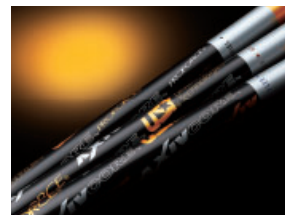
■ 戸田事業所



ユナイテッドスポーツテクノロジーズ・LP.



ATTAS T2



AXIV-Core

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、高水準の失業率が続くなど厳しい状況にありながらも、各種指標にも景気回復の兆しが見られる中で幕を開け、海外経済の改善や緊急経済対策をはじめとする政策の効果などを背景に企業収益の改善が続き、景気の着実な自律的回復への基盤が整うかに思われる中で推移しました。しかし、終盤にかけて失業率が高止まりし海外景気の下振れやデフレの影響が懸念されるなど環境の厳しさが増し、景気回復は足踏み状態となるに至っています。

このような経済環境の下で当社グループは、電子機器事業における一連のM&Aによる事業領域の拡大と製造部門の子会社への吸収分割による分社化の決定、スポーツ事業におけるグローバルブランド「USTMamiya」の立ち上げ、そして戦略的意思決定を支える諸機能の東京・五反田への集約といった一連の戦略的事業再構築によって、経営資源の選択と集中並びに事業領域の拡大とを進め、健全かつ強固な経営基盤を着実に構築しつつあります。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は91億55百万円（前年同期比14.3%増）、営業利益は11億10百万円（前年同期比56.0%増）、経常利益は10億22百万円（前年同期比38.2%増）、四半期純利益は9億12百万円（前年同期比50.3%増）となりました。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりです。

— 電子機器事業部門 —

電子機器事業セグメントは、カードユニットのOEM事業への過度の依存を脱却し、より安定した収益基盤の確立と経営資源の強化を実現すべく、人材確保、独自技術の開発、新規市場の開拓等に努めると共に、品質及び生産性の一層の向上を図るべく製造部門を分社化する等、事業のあらゆる局面における体制の整備と強化を着実に進めております。

当第2四半期累計期間につきましては、OEM製品であるカードユニットの販売が好調に推移し、とりわけメダル貸機は、パチスロ機が一時の低迷を脱して増設傾向となり、大幅な売上増加となりました。また、11月に開催されるAPEC首脳会議期間中のホールによる機器設置の自粛を織り込んだ前倒し需要によるプラス効果もあり、前年同期と比べ増収増益となりました。

この結果、電子機器事業セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は79億44百万円（前年同期比10.6%増）、営業利益は10億94百万円（前年同期比33.4%増）となりました。

— スポーツ事業部門 —

スポーツ事業セグメントは、内外の消費低迷が長期化する中、商品ライフサイクル短縮に即した開発・設計スピードアップの必要性増大、下請メーカーの開発・設計業務への進出等、競争環境の厳しさは激化する一方で。

国内市場では、OEMが減少し、カスタムモデルの増加に押されリシャフト市場が縮小する等、厳しい状況にありますが、この9月発売のニューモデル「ATTAS T2」は好評をいただいております。一方、海外市場では、中核市場である米国の不況が長引き、ゴルフアーの購買意欲が減退する中で、素材と技術に新たな進展がないカーボンシャフトの差別化が困難となり安売り競争を招いており、クラブメーカーのシャフトブランド軽視によるノンブランドメーカーへの直接発注の動き等も見られる中で、シャフト各社共に苦戦を強いられています。このような厳しい市場環境において当社は、クラブ各社の在庫調整と景気回復の動向を見定めながら、営業戦略の見直しを図ると共に、当面、広告活動の強化によるブランド認知の向上に注力しております。

この結果、スポーツ事業セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は12億11百万円（前年同期比46.5%増）、営業利益は16百万円（前年同期は1億8百万円の営業損失）となりました。



自らのポテンシャルを最大限に引き出し、そしてヘッド本来の特性を導き出す… ATTASは、そんなゴルフアーの理想を実現するシャフトとして、トッププロの声を集約して完成させました。世界のトッププレーヤー達が、多くの大会でATTASブランドのシャフトを使用して大活躍しております。

Consolidated Financial Statements

四半期連結
財務諸表

四半期連結貸借対照表（要旨）

単位：百万円

| 科 目 | 当第2四半期 | 前第2四半期 | 前会計年度末 |
|----------|--------------|--------------|--------------|
| | 平成22年9月30日現在 | 平成21年9月30日現在 | 平成22年3月31日現在 |
| ● 資産の部 | | | |
| 流動資産 | 11,889 | 10,783 | 11,619 |
| 固定資産 | 2,810 | 2,441 | 2,287 |
| 有形固定資産 | 366 | 454 | 396 |
| 無形固定資産 | 667 | 369 | 322 |
| 投資その他の資産 | 1,776 | 1,617 | 1,567 |
| 資産合計 | 14,699 | 13,225 | 13,907 |
| ● 負債の部 | | | |
| 流動負債 | 5,008 | 4,719 | 5,019 |
| 固定負債 | 1,856 | 2,043 | 1,975 |
| 負債合計 | 6,865 | 6,763 | 6,995 |
| ● 純資産の部 | | | |
| 株主資本 | 7,689 | 6,276 | 6,776 |
| 資本金 | 3,958 | 3,958 | 3,958 |
| 利益剰余金 | 3,762 | 2,348 | 2,849 |
| 自己株式 | △ 31 | △ 31 | △ 31 |
| 評価・換算差額等 | 145 | 186 | 135 |
| 純資産合計 | 7,834 | 6,462 | 6,911 |
| 負債純資産合計 | 14,699 | 13,225 | 13,907 |

四半期連結損益計算書（要旨）

単位：百万円

| 科 目 | 当第2四半期 | 前第2四半期 | 前会計年度 |
|------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで | 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで | 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで |
| 売上高 | 9,155 | 8,009 | 15,190 |
| 売上総利益 | 2,819 | 2,354 | 4,345 |
| 営業利益 | 1,110 | 712 | 1,318 |
| 経常利益 | 1,022 | 740 | 1,295 |
| 税金等調整前四半期(当期)純利益 | 1,001 | 646 | 1,165 |
| 四半期(当期)純利益 | 912 | 607 | 1,107 |

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

単位：百万円

| 科 目 | 当第2四半期 | 前第2四半期 | 前会計年度 |
|----------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで | 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで | 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,076 | 1,423 | 2,324 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 605 | △ 29 | △ 305 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 238 | 558 | 618 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △ 12 | 16 | 4 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 220 | 1,969 | 2,641 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,870 | 3,229 | 3,229 |
| 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 | 6,090 | 5,198 | 5,870 |

会社概要

平成22年9月30日現在

商号 マミヤ・オーピー株式会社
本店所在地 東京都品川区西五反田二丁目11番17号
設立 1948(昭和23)年2月
資本金 39億58百万円
従業員 132名

役員

代表取締役社長 矢崎 登 取締役 菅原 正巳
取締役副社長 島田 和長 取締役 峰島 重雄
常務取締役 山本 和孝 取締役 磯部 圭一
常務取締役 鈴木 聡 常勤監査役 志田 太利夫
常務取締役 高橋 浩二 監査役 関口 正夫
取締役 鈴木 登 監査役 渡邊 光治

グループ会社

マミヤ・オーピー・ネクオス株式会社(埼玉県さいたま市)
エフ・エス株式会社(東京都品川区)
ユニテッドスポーツテクノロジーズ・ホールディングスInc.
(米国・デラウェア州)
ユニテッドスポーツテクノロジーズ・LP.(米国・テキサス州)
マミヤ・オーピー(バングラデシュ)Ltd.(バングラデシュ・チッタゴン市)

事業拠点

本社 〒141-0031 東京都品川区西五反田二丁目11番17号 HI五反田ビル
管理本部(総務部・経理部・秘書室)監査室:
Tel 03-5437-2311(代表) Fax 03-5437-2363
電子機器統括部(営業部門):
Tel 03-5437-2573(代表) Fax 03-5437-2473
USTMamiya統括部(営業部門):
Tel 03-5437-2430 Fax 03-5437-2472
事業開発室:
Tel 03-5437-2620 Fax 03-5437-2472

技術開発センター 〒141-0031 東京都品川区西五反田一丁目23番9号 りそな五反田ビル
電子機器統括部(開発部門):
Tel 03-5759-2660(代表) Fax 03-5759-2770

戸田事業所 〒335-0031 埼玉県戸田市美女木三丁目5番1号
USTMamiya統括部(管理課・開発課):
Tel 048-449-6699(代表) Fax 048-449-6711

上野事業所 〒110-0015 東京都台東区東上野二丁目24番1号 トータテ上野ビル
スキャロポ統括部:
Tel 03-6240-1420 Fax 03-6240-1419

岩槻事業所 ※平成22年10月1日付会社分割によりマミヤ・オーピー・ネクオス(株)に承継
〒377-0004 埼玉県さいたま市見沼区卸町二丁目6番地21
岩槻事業所(生産部門・品質保証部):
Tel 048-680-5261(代表) Fax 048-680-5262

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
剰余金の配当基準日 期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
単元株式数 1,000株
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

お問い合わせ先

| | 証券会社に口座をお持ちの場合 | 特別口座の場合 |
|-----------|----------------|---|
| 郵便物送付先 | | 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 |
| 電話お問い合わせ先 | お取引の証券会社になります。 | 0120-288-324 (フリーダイヤル) |
| お取扱店 | | みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店 |

公告方法 電子公告(当社ホームページに掲載)
ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行きます。

株式情報

平成22年9月30日現在

株式の状況 発行可能株式総数 …………… 150,000,000株
発行済株式の総数 …………… 93,481,700株
株主総数 …………… 7,908名

大株主

| 株主名 | 株式数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| 株式会社データ・アート | 53,595 | 57.33 |
| 東京海上日動火災保険株式会社 | 846 | 0.90 |
| 原 幸 一 郎 | 710 | 0.75 |
| エヌティーシーアカウンティングサービス株式会社 | 701 | 0.74 |
| 日本証券金融株式会社 | 534 | 0.57 |
| 王 厚 龍 | 340 | 0.36 |
| ゴールドマン・サックス・インターナショナル (常任代理人 ゴールドマン・サックス証券株式会社) | 328 | 0.35 |
| 平 野 聰 | 300 | 0.32 |
| 小 林 順 子 | 290 | 0.31 |
| CBNY-DFA INVESTMENT TRUST COMPANY- JAPANESE SMALL COMPANY SERIES (常任代理人 シティバンク銀行株式会社) | 285 | 0.30 |

Mamiya-OP Co.,Ltd.

マミヤ・オーピー株式会社

東京都品川区西五反田二丁目11番17号

<http://www.mamiya-op.co.jp/>